

# ～今だから見直せ！少年サッカー教育～



江戸川大学チームオガスティV2  
白田直人 石井亮輝 篠田悠人  
金城洸盛 小山隆文 船橋和真



# 目次

1 政策・目的

2 背景

3 サッカー教育のメリット

4 政策にあたって

5 政策の詳細

6 まとめ



# 政策

- サッカーを一つの教科として時間割に入れ小学校の教員の中にサッカー専門の教員を配属させる。



# 目的

- ・少年サッカーの教育から見直し、下の世代から底上げし、今よりもっと強いサッカー日本代表を作る



# 目次

2 背景

3 サッカー教育のメリット

4 政策にあたって

5 政策の詳細

6 まとめ



# 近年の男子サッカーのスコア

- 2016年10月11日 - 日本代表 1 : 1 オーストラリア代表 △
- 2016年10月06日 - 日本代表 2 : 1 イラク代表 ○
- 2016年09月06日 - 日本代表 2 : 0 タイ代表 ○
- 2016年09月01日 - 日本代表 1 : 2 アラブ首長国連邦代表 ●
- 2016年06月07日 - 日本代表 1 : 2 ボスニア・ヘルツェゴビナ代表 ●
- 2015年08月02日 - 日本代表 1 : 2 北朝鮮代表 ●



# 背景

• 女子サッカー

• 男

• 女子

• 男

男子サッカー  
日本代表は  
弱い

Aランキング



# 子どもの運動能力低下



# 30年前と現在で体力、運動能力の差

## 30年前(11歳男子)

- 1500m走 約6分10秒

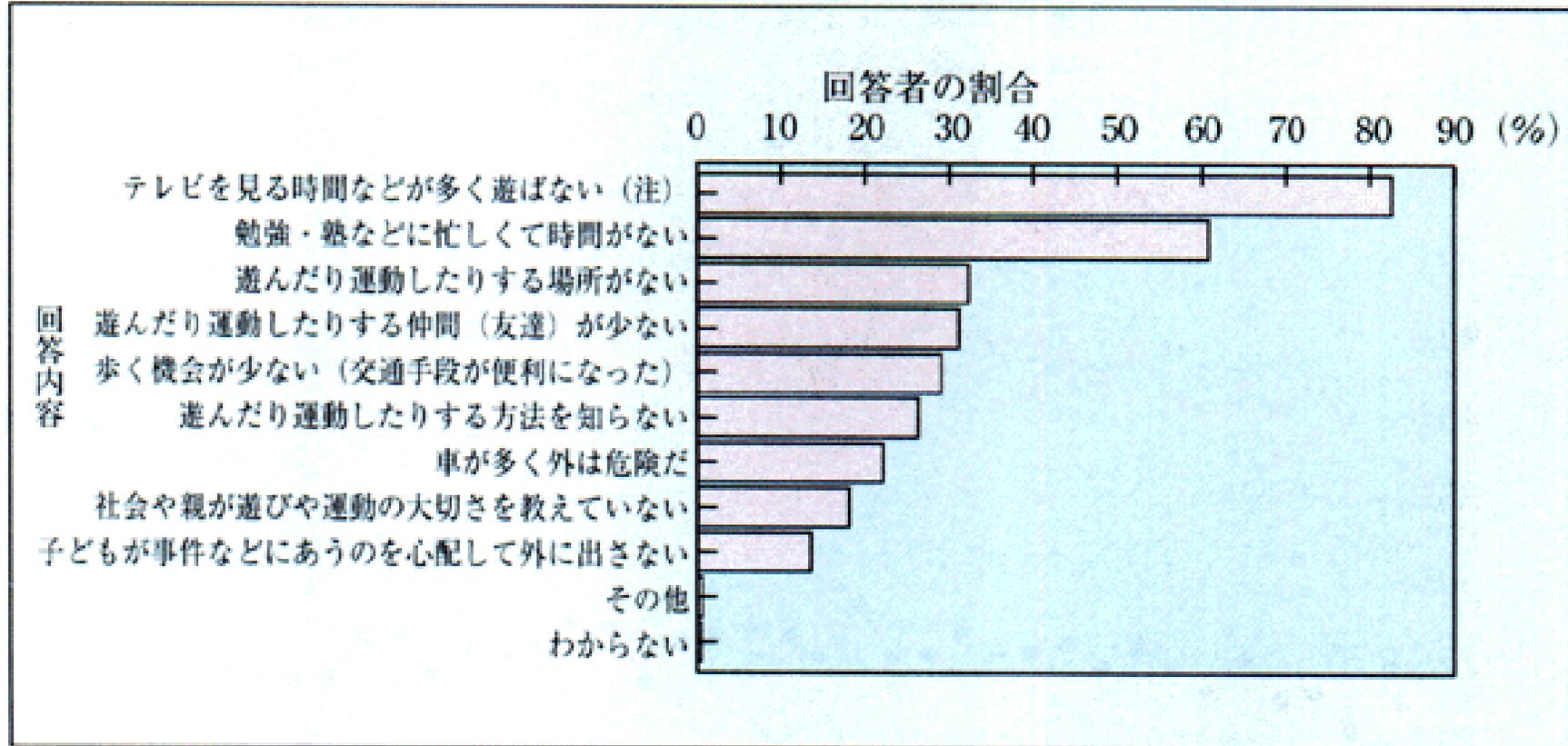
- 50m走 約8.74秒

## 現在(11歳男子)

- 1500m走 約6分20秒

- 50m走 約8.9秒

# 運動不足の理由



(複数回答)

(注) テレビを見たり, ゲームをする時間などが多く, 外で遊ばなくなった



# 日本とブラジルの指導の違い

## 日本 ●

- チーム、組織のために勝つ
- 指導者は褒める事より怒る
- ボールを使った練習時間が短い

## ブラジル



- 勝つことより楽しむことを大事にしている
- 指導者も上達すると楽しくなると常に楽しさを忘れない
- 1に技術、2に技術、徹底的にボール扱いの技術を指導する。



# 目次

3 サッカー教育のメリット

4 政策にあたって

5 政策の詳細

6 まとめ



# 他のスポーツに比べてサッカーがなぜふさわしいか？

- 小学校の学習主要科目でもある体育の授業に含まれている
- 運動量が豊富
- ボールがあればプレーが可能
- 場所に困らない



# 少年時代にサッカーをするメリット

- ・ゴールデンエイジと言われる時期にちょうどあたる



# ゴールデンエイジとは？

- 子供の心身発達の過程で体も脳も安定し、物事を覚える年齢で技術を磨くと光り輝く可能性を最も秘めた時期



# 目次

4 政策にあたって

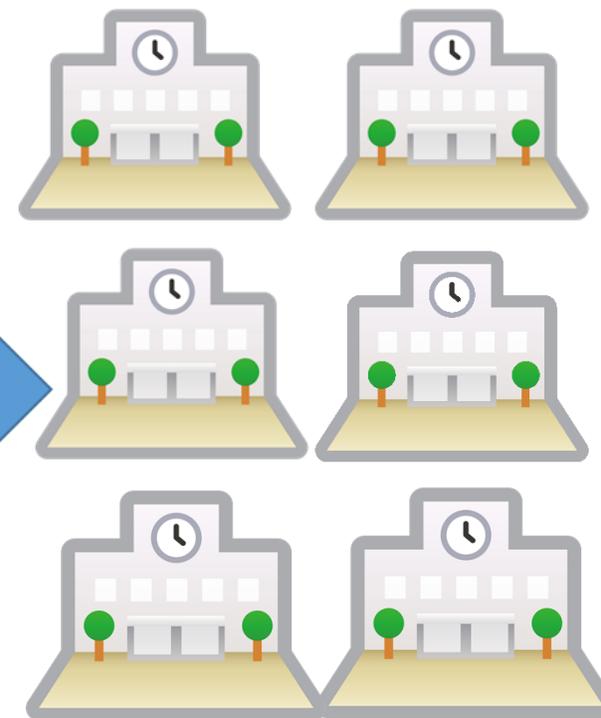
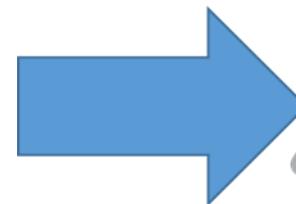
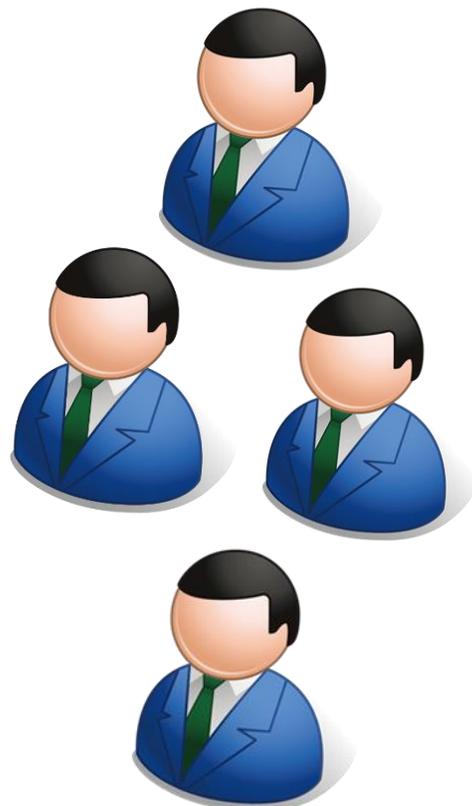
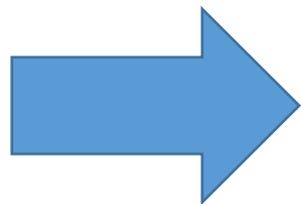
5 政策の詳細

6 まとめ



ライセンス取得人数  
78580人

全国の公立小学校20302校



江戸川大学  
EDOGAWA UNIVERSITY

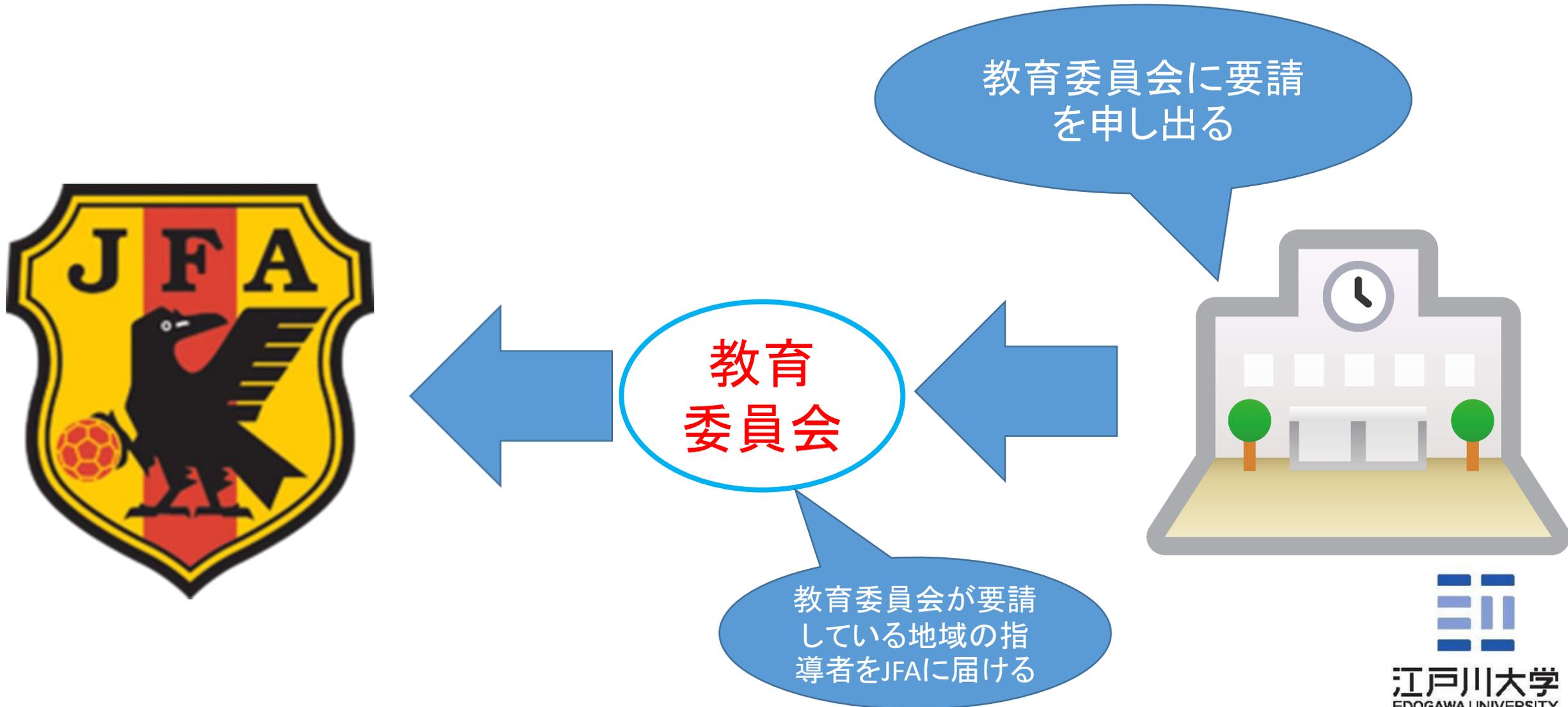
# 目次

5 政策の詳細

6 まとめ



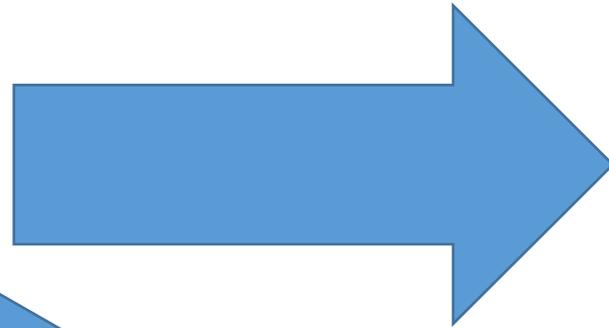
# 政策のシステム



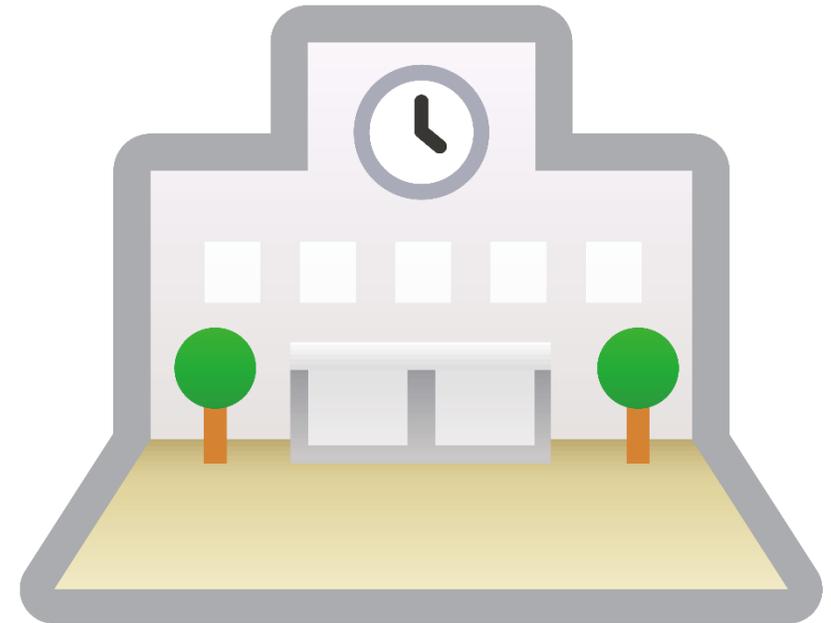
# サッカー協会側



サッカー専門  
先生を配属



配属した先生へ1コマ  
5千円ずつの給料を支払う



# JFAの15年度 収益決算

12億円



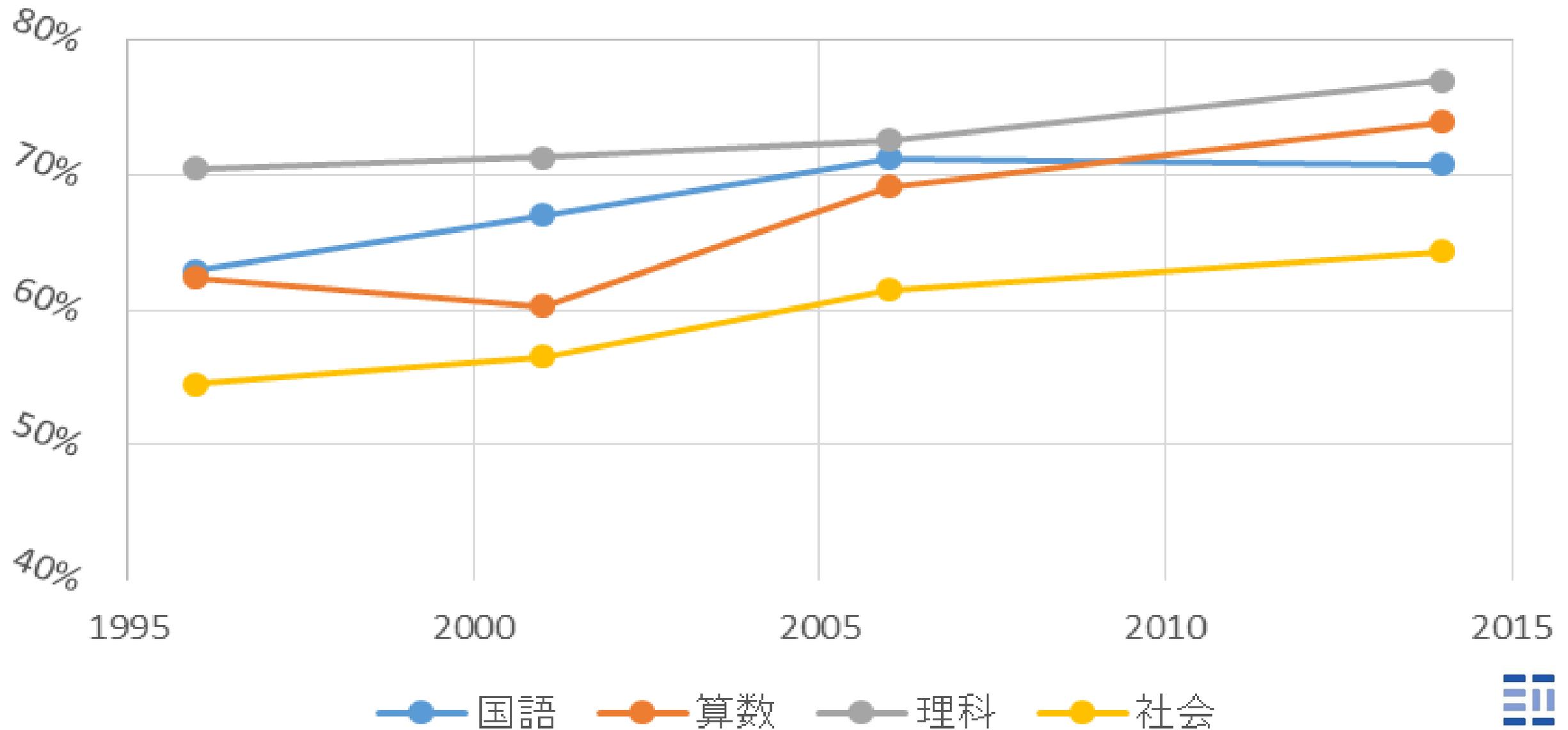
例えば、  
先生

24万

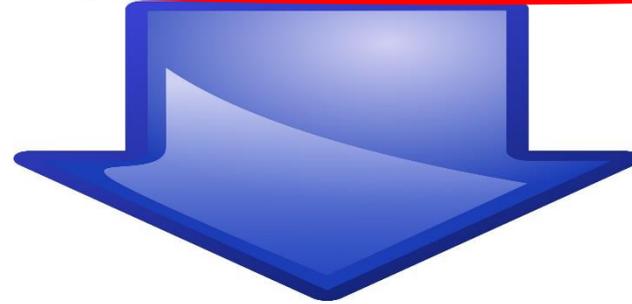
コマの



# 小学生の勉強の理解度



	国語	算数	社会	理科	道徳
第3学年	235	150	70	70	35
第4学年	235	150	85	90	35
第5学年	180	150	90	95	35
第6学年	175	150	100	95	35



	国語	算数	社会	理科	道徳	サッカー
第3学年	220	140	65	66	34	35
第4学年	220	140	81	85	34	35
第5学年	170	140	84	87	34	35
第6学年	165	140	91	90	34	35



# 目次

6 まとめ



まとめ



教育委員会

ご清聴ありがとうございました



江戸川大学  
EDOGAWA UNIVERSITY